

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 4月 29日 時刻12:50

男子【決勝リーグ】

寝屋川三	61	$\left[\begin{array}{r} 20-6 \\ 13-9 \\ 15-2 \\ 13-10 \end{array} \right]$	27	八雲
------	----	---	----	----

第1PD	寝屋川三④⑤⑥⑦⑧オールマンツ、八雲④⑤⑦⑧⑨ハーフマンツでスタート。
八雲は④のレイアップで先制する。対する寝屋川三も⑦の飛び込みですぐにやり返し、速攻主体のオフェンスで得点を重ねていく。八雲は⑧を中心にインサイドにボールを集めるものの、なかなかシュートが決まらず、20-6の寝屋川三リードで第1PD終了。	
第2PD	寝屋川三④⑤⑥⑦⑧オールマンツ、八雲④⑤⑦⑧⑨ハーフマンツでスタート。
一進一退の攻防が続くが残り5分、寝屋川三⑤の連続スティールから流れが寝屋川三に傾きかけた所で、八雲タイムアウト。八雲はインサイドの⑧にボールを集めようとするものの、寝屋川三⑥のディフェンスにさえぎられ、なかなかパスが入らない。その後、両チームともこう着状態が続き33-15、寝屋川三リードで前半終了。	

第3PD	寝屋川三④⑤⑥⑦⑧オールマンツ、八雲④⑤⑦⑧⑨ハーフマンツでスタート。
寝屋川三が④⑦のドライブなどコートを広く使って攻撃を組み立てるのとは対照的に、八雲は⑧のインサイドで勝負をするものの、ミスが続き点が入らない時間が続く。残り1分、八雲④のステップインからなんとか得点するものの、48-17で寝屋川三のリードが広がり第3PD終了。	
第4PD	寝屋川三④⑤⑥⑦⑧オールマンツ、八雲④⑤⑦⑧⑨ハーフマンツでスタート。
八雲に疲れが見え始めると、寝屋川三の速攻やオールコートマンツにより勢いがついてくる。対する八雲も⑧がハイポストでスクリーナーとなり周りのプレイヤーを活かす攻撃を組み立てる。寝屋川三はメンバーを変えながらも、速攻とディフェンスの手を緩めない。最終的に61-27と寝屋川の”足”が光る試合であった。	
(戦評／長尾中:前田)	

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 4月 29日 時刻14:30

男子【決勝リーグ】

枚方四	63	$\left[\begin{array}{l} 23-7 \\ 11-14 \\ 8-23 \\ 12-10 \end{array} \right]$	56	桜丘
		延長	9-2	

第1PD	枚方四④⑤⑥⑦⑩オールマンツ-、桜丘⑥⑦⑧⑩⑰ハーフマンツ-でスタート。
序盤、枚方四が効果的なパスまわしからアウトサイドシュート、⑥のインサイドプレーをおり混ぜながら得点を重ね試合のペースをにぎる。対する桜丘は固い守りに会うとアウトサイド中心の攻めを強いられ中々ペースをつかめないまま厳しい立ち上がりとなり、23-7で枚方四リードで第1PD終了。	
第2PD	枚方四は④⑤⑥⑦⑩ハーフマンツ-に、桜丘は⑥⑦⑩⑰⑱1-2-2のソープレスで開始。
互いの固い守りに中々得点の動かない立ち上がりとなる。第1PDと変わらない攻め方で少しずつ得点を重ねる枚方四に対し、桜丘は⑱の1対1中心の攻めに切りかえディフェンスファウルを誘う。まは早い攻守の切り替えが速攻につながり、徐々に点差をつめて34-21枚方四リードで前半終了。	

第3PD	枚方四④⑤⑥⑦⑩ハーフマンツ-、桜丘⑥⑦⑩⑰⑱1-2-2のソープレスで開始。
立ち上がりから桜丘のディフェンスが機能し速い展開からどんどん得点を重ねていく。一方の枚方四はインサイドを封じられアウトサイド中心の攻めを強いられる。つかんだ流れそのままに桜丘⑰の個人技を中心に点数を重ね続けた桜丘がついに逆転し、枚方四42-44桜丘で第3PD終了。	
第4PD・延長	枚方四④⑤⑥⑦⑩ハーフマンツ-、桜丘⑥⑦⑩⑰⑱1-2-2のソープレスで開始。
互いに気持ちの入ったプレーを見せ、8分間一進一退の攻防が続く。そのまま、54-54で試合は延長に突入する。延長戦も強い気持ちで1対1を中心に攻め続ける桜丘に対し、がまん強く守り冷静にアウトサイドシュートを沈めた枚方四に軍配が上がり63-56で枚方四が勝利した。	
(戦評/交野第三中:太田)	

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月 2日 時刻11:00

男子【決勝リーグ】

寝屋川三	80	$\left[\begin{array}{l} 22-4 \\ 24-0 \\ 12-15 \\ 22-4 \end{array} \right]$	23	桜丘
------	----	---	----	----

第1PD	寝屋川三④⑤⑥⑦⑧、桜丘④⑥⑦⑧⑩でスタート。
序盤から寝屋川三の堅守からのファーストブレイクが3本連続で決まり波に乗る。その後も寝屋川三④⑤が巧みにパスを回し、良いリズムでシュートを決めていく。一方、桜丘は残り4分で⑰⑱がコートに入るが流れは変わらず、22-4で寝屋川三が大きくリードして第1PDを終える。	
第2PD	寝屋川三④⑤⑥⑦⑧、桜丘⑤⑧⑨⑪⑰でスタート。
桜丘は全員メンバーを変えて挑むが寝屋川三の流れは変わらず、残り4分で寝屋川三もオールメンバーチェンジ。その後もパス回しから⑩の3Pなどで得点を重ね、寝屋川三が46-4と大きくリードして前半を終える。	

第3PD	寝屋川三⑨⑩⑪⑫⑰、桜丘⑥⑦⑩⑪⑰でスタート。
桜丘がオールコートのディフェンスでしかけリズムをつかむ。⑰のジャンプシュートもよく決まり、少し雰囲気が変わる。しかし、寝屋川三も徐々に桜丘のディフェンスに対応しだし、流れを取りもどす。第3PDは12-15と桜丘がリードして終わる。	
第4PD	寝屋川三⑩⑪⑫⑰⑱、桜丘④⑤⑨⑪⑫でスタート。
第4PDも寝屋川三はよく走り、よく跳び、よく守り、得点を重ねていく。桜丘も1on1をしかけていくがシュートが決まらず、最終スコアは80-23。全体を通して寝屋川三の堅守・走力・パス回しが光った試合であった。	
(戦評／長尾西中：山元)	

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月 2日 時刻11:00

男子【決勝リーグ】

八雲	29	{	14-21 0-19 12-16 3-12	}	68	枚方四
----	----	---	--------------------------------	---	----	-----

第1PD

八雲④⑤⑥⑧⑨、枚方四④⑤⑥⑦⑩でスタート。

両チーム、マンツーマンでスタート。出だし八雲⑨のミドルシュート、⑤のスティールで得点するも枚方四も⑩のバスケットカウント、④の3Pで互角の立ち上がり。その後、両チームポストをいかしてのオフェンスで得点を重ね14-21で枚方四がリードで第1PD終了。

第2PD

八雲④⑤⑥⑧⑨、枚方四④⑤⑥⑦⑩でスタート。

枚方四がオールコートプレスをしかけ、④⑤の1対1、⑥⑩⑩のポストをいかしてオフェンスで着実に得点を重ねていく。八雲も⑧のポストプレーで対抗するが枚方四の厳しいマークにより得点できず、八雲14-40枚方四で前半終了。

第3PD

八雲④⑤⑥⑧⑨、枚方四④⑤⑥⑦⑩でスタート。

枚方四が連続3Pで得点し、前半の流れのままスタート。しかし、八雲が⑧のポストプレーが決まり出し得点を重ねる。両チーム得点を重ね、均衡状態が続き八雲26-56枚方四で第3PD終了。

第4PD、延長

八雲④⑤⑥⑧⑨、枚方四⑧⑨⑫⑬⑱でスタート。

両チーム、ディフェンスが厳しくなりファウルでの得点がかさむ。枚方四は速攻がつながり、得点を重ねていく。八雲は早い展開の攻撃にファウルを続けてしまい。相手の得点につなげてしまう。最終結果は29-68で枚方四の勝利となった。

(戦評/交野第一中:灰藤)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月 2日 時刻14:30

男子【決勝リーグ】

枚方四	32	$\left[\begin{array}{r} 8-8 \\ 3-15 \\ 9-13 \\ 12-6 \end{array} \right]$	42	寝屋川三
-----	----	---	----	------

第1PD

枚方四④⑤⑥⑦⑩、寝屋川三④⑤⑥⑦⑧でスタート。

両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。枚方四は⑥のローポストにボールを集めるが思うようにシュートが決まらず、寝屋川三は⑥⑦のミドルシュートで得点を重ねる。その後は両チーム、オフェンスのリズムをつかめずも、速攻やゴール下でファウルをもらうなどで得点する。8-8で第1PD終了。

第2PD

枚方四④⑤⑥⑧⑩、寝屋川三④⑤⑥⑦⑩でスタート。

立ち上がり枚方四は⑥⑩がゴール下でのがんばりを見せ、逆に寝屋川三はミドルシュートが思うように決まらない。しかし、残り3分から寝屋川三は持ち味の速攻を立て続けに決め、一気に点差を広げる。枚方四はタイムアウトで流れを切ろうとするも結局11-23、寝屋川三リードで前半終了。

第3PD

枚方四④⑤⑥⑦⑩、寝屋川三④⑤⑥⑦⑧でスタート。

立ち上がりから寝屋川三⑤の1on1、④のフリースロー、⑥のミドルシュートなどで連続得点。対する枚方四はなかなかオフェンスのリズムがつかめず、得点差が広がる。メンバーチェンジやタイムアウトで流れをつかみたい枚方四は速攻やミドルシュートで得点するも、それを上回る寝屋川三の怒涛の攻撃で20-36、寝屋川三がリードを広げ第3PDを終える。

第4PD、延長

枚方四④⑤⑥⑦⑩、寝屋川三④⑤⑥⑦⑧でスタート。枚方四は2-1-2から

2-3のゾーンディフェンスでスタートし⑥がゴール下でのディフェンスのがんばりを見せ、さらにインサイドでの得点を重ねる。寝屋川三はゾーンを思うように攻められず残り4分でタイムアウト。タイムアウト後、枚方四⑤がミドルシュートを決めついに10点差にする。しかし、寝屋川三も⑤⑥のシュートで追撃を許さず一進一退の攻防が続く。残り2分、枚方四はオールコートマンツーマンで追い上げをねらうも寝屋川三がきっちりシュートを決め32-42で全勝優勝を決める。(戦評/山田中:大沼)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月 2日 時刻14:30

男子【決勝リーグ】

桜丘	56	{	16-9 15-18 11-15 14-11	}	53	八雲
----	----	---	---------------------------------	---	----	----

第1PD

桜丘④⑥⑦⑧⑩、八雲④⑤⑥⑧⑨、両チームハーフコートマンツースタート。

八雲は⑧にボールを集めインサイドで攻め得点を重ね0-8とする。桜丘はメンバーチェンジ後、1-2-2のオールコートゾーンプレスをしかけ一気に追いつき、10-8と逆転。八雲はたまたずタイムアウトをとるも、桜丘⑦のシュートが確実に決まり16-9と桜丘リードで第1PD終了。

第2PD

桜丘⑥⑦⑧⑩⑪⑫、八雲④⑤⑥⑧⑨でスタート。

桜丘は引き続きオールコートゾーンプレス、八雲はハーフコートマンツースタートのディフェンス。桜丘はディフェンスの頑張りからオフェンスのリズムをつかみ、⑩を起点にインサイド⑦⑧のミドルシュート、リバウンドシュートで得点を重ねる。八雲も⑧のパワープレイ、⑨のスピードのあるプレイでくわいつき、31-27で桜丘リードで前半終了。

第3PD

桜丘⑥⑦⑩⑪⑫、八雲④⑤⑦⑧⑨でスタート。

桜丘はオールコート、八雲はハーフマンツースタートと同様のディフェンスで守る。八雲は④のドライブ、⑧のバスケットカウントでリズムに乗り得点を重ねる。桜丘も⑪の3Pで応戦するもターンオーバーからのミスで八雲が着実に点差をつめる。桜丘は我慢の時間が続き、42-42の同点で第3PD終了となる。

第4PD

桜丘⑥⑦⑩⑪⑫、八雲④⑤⑦⑧⑨でスタート。第3PDと同様のディフェンス。

八雲は⑧のターンシュートが決まり落ち着いて第4PDのスタートを切り、得点を重ねる。それに対し、桜丘は⑦の1on1で得点を重ねる。どちらもゆずらないゲームとなるが八雲はチームファウル、個人ファウルがつもり苦しいゲームとなる。桜丘はフリースローを着実に決め56-53で桜丘が勝利。最終ゲームにふさわしい熱いゲームとなった。

(戦評/サダ中:池嶋)